

新潟市地域包括ケア推進モデルハウス 実家の茶の間・紫竹
開設1周年お祝い会

次 第

と き 平成27年10月19日(月)
午前10時30分から11時00分
と ころ 新潟市東区紫竹4-21-62
新潟市地域包括ケア推進モデルハウス
実家の茶の間・紫竹

1. 開式

2. 挨拶

新 潟 市
実家の茶の間

篠田 昭 市長
河田 瑠子 代表

3. みたけ保育園 園児によるお祝い品贈呈

4. 参加者代表 お祝いの言葉

5. 閉式

【平成26年度 実家の茶の間・紫竹 視察・研修等来場団体】

- 10月
- 西区生活支援コーディネーター
 - 石山地区公民館
 - UX新潟テレビ21
 - 新潟市役所広報課
 - 新潟日報
 - 東区社会福祉協議会
 - 中央区生活支援コーディネーター
 - 東区役所地域課
 - 大江山地区コミュニティ協議会
 - (株)第一建設工業
 - 西区役所地域課
 - 江南区生活支援コーディネーター
 - 神戸大学
 - 明石工専
 - 毎日新聞
- 11月
- 江南小学校（校長・地域教育コーディネーター）
 - 江南区役所健康福祉課
 - 西蒲区生活支援コーディネーター
 - 新潟市副市長
 - 北区公民館
 - 北区役所
 - 日経新聞
 - 北区生活支援コーディネーター
 - 西区生活支援コーディネーター
 - 秋葉区生活支援コーディネーター
 - ハッピーライフ新潟
 - 大江山地区コミュニティ協議会
 - 新潟市長
 - 新潟お笑い集団NAMARA
 - 東区生活支援コーディネーター
 - 北区生活支援コーディネーター
- 12月
- 江南区生活支援コーディネーター
 - 名古屋市港区社会福祉協議会
 - 新潟県庁福祉保健部

地域包括支援センター赤塚
中央区生活支援コーディネーター
新潟県庁福祉保健部
新潟県社会福祉協議会地域福祉課
南区生活支援コーディネーター
西区自治協議会
秋葉区小須戸地区より見学
西蒲区生活支援コーディネーター
新潟県福祉保健部
東区江南地区民生委員児童委員協議会
西区生活支援コーディネーター
(実家の茶の間報告会)
北区生活支援コーディネーター
江南小学校
東区役所健康福祉課保健師
中央区沼垂小学校区コミュニティ協議会
NPO法人にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎
新潟市社会福祉協議会

1月

江南小学校
名古屋デイサービス
エイボン・プロダクツ(株)
(株)第一建設工業
国際長寿センター
石山地域包括支援センター
東区役所健康福祉課保健師
(新潟県社会福祉協議会「地域の茶の間研修会」)
中央区関屋地区より見学
(新潟市生活支援コーディネーター研修)

2月

江南小学校(児童・教師)
新潟日報
毎日新聞
東区役所地域課
江南小学校
江南区亀田東小学校区コミュニティ協議会
紫竹自治会
新潟夕映えの会
燕市より見学

(新潟市社会福祉協議会研修)
(老人クラブ友和会全員集会)
お笑い事業団
新潟県福祉保健部
新潟県社会福祉協議会
江南区コミュニティ協議会
私立みたけ保育園
さわやか福祉財団

3月

私立みたけ保育園
南区生活支援コーディネーター
(紫竹2区子ども会総会)
私立みたけ保育(園児・先生)
市役所広報課取材
紫竹2区自治会
(紫竹2区自治会役員会)
江南区公民館
西蒲区はたや
野菜販売(とう菜)
東区健康福祉課保健師、栄養士
私立みたけ保育園
(紫竹第3老人クラブ行事説明会・昼食会)
(紫竹2区自治会役員会)
(老人クラブ友和会総会)
(自治会子ども会)
江南区公民館
北海道より見学
東区中山地区より見学
中山交番所長
スペースBe
(紫竹2区自治会総会)
岐阜県より見学
大阪市より見学
(当番研修会)
北区社会福祉協議会
胎内市社会福祉協議会
東京足立区
胎内市社会福祉協議会

【平成27年度 実家の茶の間・紫竹 視察・研修等来場団体】

- 4月 上越市牧振興会
第一回生活支援コーディネーター研修会
紫竹あじさい会役員会
さわやか福祉財団職員
市地域包括支援センター
東区役所保健師
工房はたや職員(毎月1回)
- 5月 紫竹2区子供会総会
紫竹あじさい会役員会
さわやか福祉財団代表及び職員
埼玉県在住のご夫婦見学
(財)国際長寿センター
介護労働安定センター受講生見学
市地域包括支援センター定期健康相談
- 6月 平成27年度国の初任行政研修
高齢社会をよくする女性の会実行委員会
平成27年度石山地域公民館主催__
__「ずっとこの地域で暮らし続けたい」の第5回実技研修
新潟いなほの会みのりグループ
群馬県関係の方々ふれあいの居場所先進地視察
平成27年度江南区社会福祉協議会いきいきサロン・子育てサロン見学ツアー
高齢者大学受講生見学視察
日本歯科大学
東区役所保健師定期健康相談
第二回生活支援コーディネーター研修会
- 7月 新潟大学大学院留学生
みたけ保育園ゆり組園児と先生
高齢者大学受講者見学、視察
地域包括支援センター“かめだ”
平成27年度高齢者大学実践講座地域の茶の間コース(2回)
小針コミ協、小針第二自治会
関川村の方
燕市民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会

市民沼垂小学校
(財)国際長寿センター
市地域包括支援センター定期健康相談

8月

会津若松市民
新潟市議会議員
中央区役所地域課職員
見附市社会福祉協議会行政・包括の方々
社会福祉主事任用資格研修生
平成27年度高齢者大学実践講座地域の茶の間コース
東区社会福祉協議会実習生
東京都足立区社会福祉協議会職員
東区役所取材
新潟県労働金庫職員
JA新潟市取材
東区役所保健師定期健康相談

9月

東区社会福祉協議会実習生
中央区役所地域課コミュニティ協議会の方々(2回)
朝日新聞新潟総局取材
新潟県労働金庫職員
新潟大学生
のんびり青山の職員
バザー開催(9/13 地域の方々)
市地域包括支援センター定期健康相談
水都にいがた五感塾2015
みたけ保育園ばら組園児と先生
日本歯科大学教授と学生
「実家の茶の間・紫竹」の一年の報告と話し合い
(市地域包括ケア推進課、さわやか福祉財団理事、県高齢者福祉保健課、SC)

実家の茶の間・紫竹

平成26年度 会計報告書 (収支報告書)

自：平成26年10月20日

至：平成27年 9月30日

収入の部

単位： 円

項 目	収 入 金 額	摘 要
賛助会員費	100,000	
指定寄付金	100,000	河田代表 (エイボン賞)
寄 付 金	22,560	
茶の間参加費	1,050,700	@300
〃 食事代	750,300	@300
バザー売上げ金	264,083	平成27年9月13日開催 (104名)
雑 収 入	23,320	
合 計	2,310,963	

支出の部

単位： 円

項 目	支 出 金 額	摘 要
茶の間茶菓代	291,300	
〃 食事経費	470,100	
子 供 経 費	6,400	
ボランティア行事保険料	64,960	平成27年4月1日～平成28年3月31日
駐車場借地料	98,198	駐車場2台分
当 番 費 (交通費)	833,345	
行事関連費	67,619	平成27年9月30日一年の報告と話し合い等
借家維持費	154,560	指定寄付金
事 務 費	75,113	
雑 支 出	11,125	
繰 越 金	238,243	
合 計	2,310,963	

実家の茶の間・紫竹

平成27年度 収支予算書

自：平成27年10月 1日

至：平成28年 9月30日

収入の部

単位： 円

項 目	収 入 金 額	摘 要
前年度繰越金	238,243	
賛助会員費	100,000	駐車場2台分
寄 付 金	10,000	
茶の間参加費	945,000	@300×30人×105回
〃 食事代	787,500	@300×25人×105回
バザー売上げ金	200,000	
雑 収 入	10,000	
合 計	2,290,743	

支出の部

単位： 円

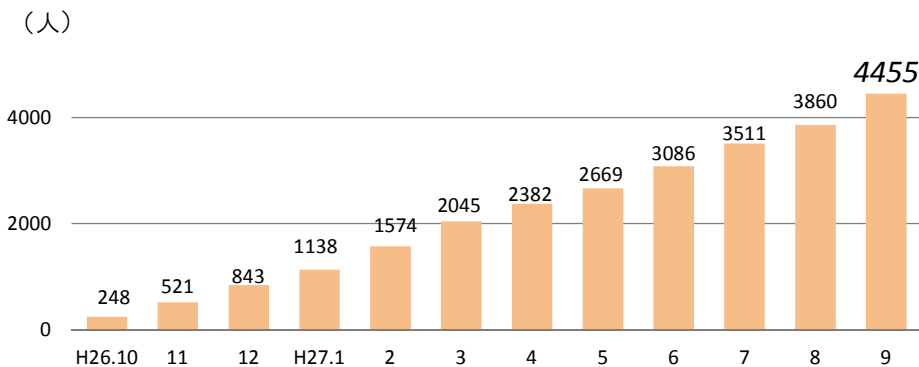
項 目	支 出 金 額	摘 要
茶の間茶菓代	315,000	@200×30人×105回
〃 食事経費	525,000	@200×25人×105回
子 供 経 費	30,000	@200×150人
ボランティア行事保険料	66,000	平成28年4月1日～平成29年3月31日
駐車場借地料	100,000	駐車場2台分
当 番 費 (交通費)	804,000	@1,600×5人×105回 (研修日含む)
行事関連費	230,000	平成27年10月19日一周年記念行事等
借家維持費	110,000	電球、障子紙等維持消耗品
事 務 費	100,000	印刷、インク代等
雑 支 出	10,000	
予 備 金	743	
合 計	2,290,743	

地域包括ケア推進モデルハウス 利用者人数（月次・累計等）

～1周年を振り返って～

- 平成26年10月18日の開所以降、週2回、実家の茶の間・紫竹を開催しています。
- 市内・県外からの視察や研修としても多く利用されています。

《グラフ1》 利用者数 月次累計



H27年9月末時点

◆年間利用者数
4,455人
大人:4,158人
子ども:297人

> 利用者には視察・研修・取材・会場での集いの人数を含む

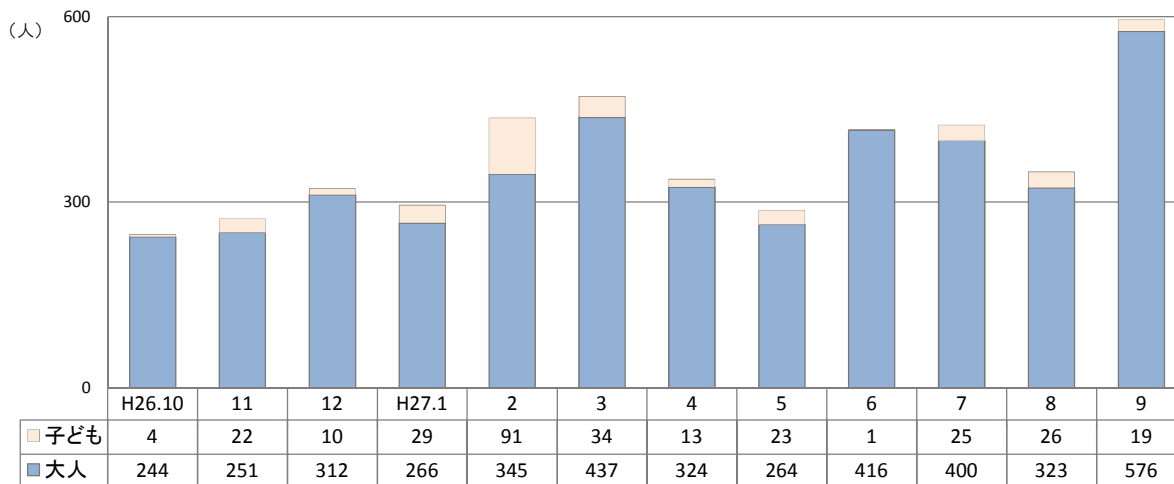
◆開催回数
124回

◆平均利用者数
約36人/回

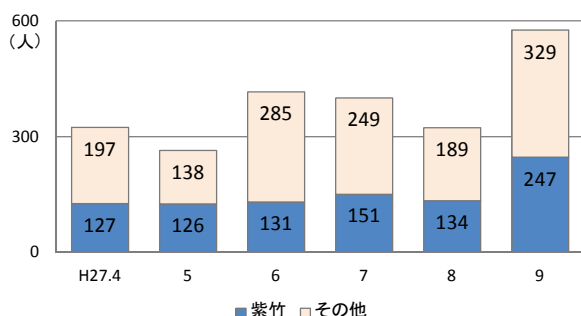
◆表1◆ 開催回数 月次・合計

H26年			H27年									合計
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
5	8	10	10	10	15	12	11	12	10	10	11	124

《グラフ2》 利用者数 月次(大人・子ども)



《グラフ3》 大人の利用者数 月次・地域別利用者(紫竹・その他)



《グラフ2》

- ◆継続的に子どもの利用あり
- ◆冬季でも利用者数は安定

《グラフ3》

- ◆紫竹地域の利用者も徐々に増加

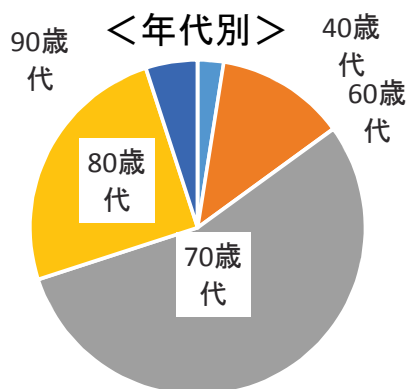
「実家の茶の間・紫竹」利用者アンケート

平成27年9月21・23日実施

1. 利用者の状況

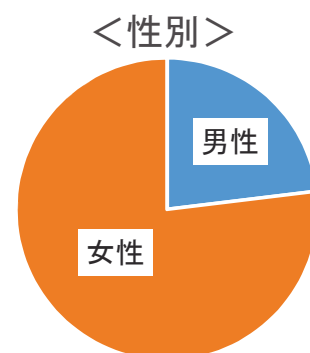
<年代別>

40歳代	1	2.5%
60歳代	5	12.5%
70歳代	22	55.0%
80歳代	10	25.0%
90歳代	2	5.0%
合計	40	100.0%



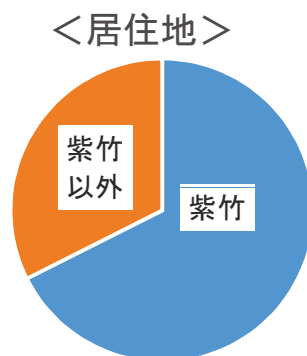
<性別>

男性	9	23.1%
女性	30	76.9%
合計	39	100.0%



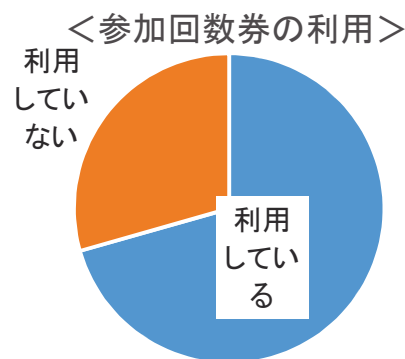
<居住地>

紫竹	25	67.6%
紫竹以外	12	32.4%
合計	37	100.0%



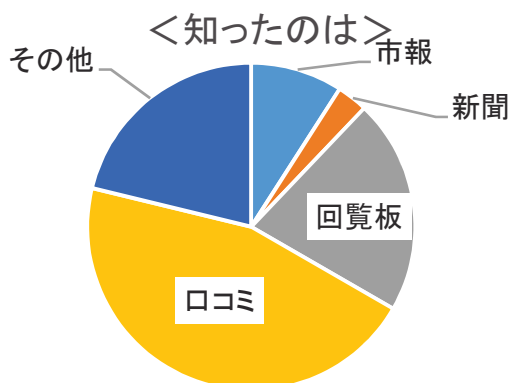
<参加回数券の利用>

利用している	24	70.6%
利用していない	10	29.4%
合計	34	100.0%



<実家の茶の間・紫竹を知ったのは> (複数回答有)

市報	3	9.1%
新聞	1	3.0%
回覧板	7	21.2%
口コミ	15	45.5%
その他	7	21.2%
合計	33	100.0%



口コミには、家族や老人会会長から聞いた、開設準備時に河田さんと会って、も含む。

2. 実家の茶の間・紫竹に来られるようになったきっかけは？

近所・家が近いので(8)
友達に誘われて(5)
大勢の人に会えるから(3)
いろいろな人と話ができる(2)
お手伝いとして、参加者として(2)
家族から聞いて(2)
「うちの実家」つながり(2)
茶の間の準備に来た人に会って(2)
何かできることがあるかもと
食事ができる
デイサービスの先生に聞いて来た
折り紙ができる
親しい人達と楽しいから
来場者の送迎で来るようになった
河田さんから
実習で
一度訪ねたらとても良い感じだったこと
声かけ
核家族で近所のご年配の方たちと子供を触れ合わせ
たかったから。人の温かみを子供に教えたかった
回答なし(7)

3. 実家の茶の間・紫竹にどんなことを期待しますか？

長く継続して欲しい(4)
話しやすい、おしゃべりできること(4)
もっと大勢の人に来てほしい(3)
安心して参加できる場所
年々良くなれば良いと
笑いがあり自由で楽しい所
気さくに話し合える場に
心のよりどころ、話しやすい友達
住み良い町内にしたい
助け合いが広まってほしい
当番や来られる方の親切や優しさ
「今日行く」と楽しみにしている所であり続けて
週3回にして欲しい
今のままでよい
自分の役立てることをみつけていきたい
なし、充分(6)
回答なし(12)

4. 実家の茶の間・紫竹に改善してほしい点や、希望することは何ですか？

開催を増やし、週3回あるといい(2)
全員でのゲームなど(2)
月1回くらい体操がしたい(2)
駐車場
移動スーパー
トイレの手洗いが狭い
トイレをウォッシュレットにしてほしい
自然に変化していく成り行きを大事にしてほしい
支え合えるようにしたい
長く続くように頑張って下さい
平日仕事なので土日に空いているといいなと思います
なし(11)
回答なし(16)

5. 日常生活でお困りのことや不便や不安に感じていることは何ですか？

雪かき(5)
買い物(4)
移動(2)
家事(2)
通院(2)
入浴
子育て
家の鍵かけ(難聴のため)
家にいても話し相手がいない
なし(8)
回答なし(17)

6. その他

楽しく良いところ、これからもずっと来たい
癒しの場所、元気にしていただける場所
茶の間はなくてはならない、これからも多くして
親切でとても居心地が良く、毎回来るのを楽しみにしています



～地域に広げよう 支えあいの仕組みづくり～

新潟市の取り組み

平成27年10月19日（月）
新潟市役所 地域包括ケア推進課

新潟市の基本データ

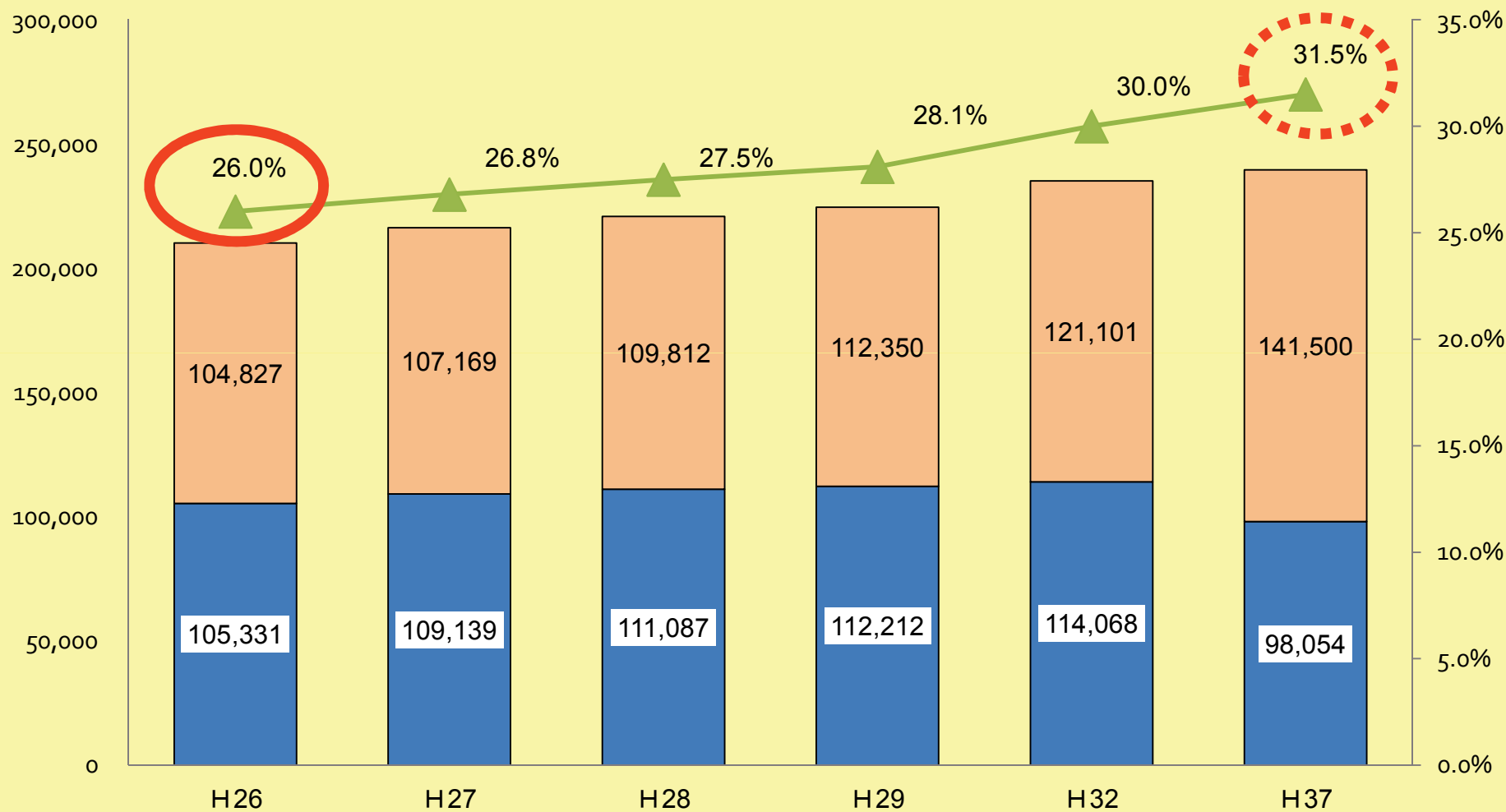


行政区	日常生活圏域	小学校	地域 コミュニティ 協議会	自治会 町内会
8区	27圏域 <small>(地域包括支援C数)</small>	110校 <small>(市立のみ) (H27.4/1)</small>	99 <small>(H27.4/1)</small>	2,069 <small>(H27.4/1)</small>

	人口	世帯	備考
全市	801,270	327,723	(外国人含む)
高齢者人口 65歳以上	212,889 (26.6%)	高齢者のみ世帯 80,046	ひとり暮らし 高齢者人口 45,573
生産年齢人口 15～64歳	488,488 (61.0%)		
年少人口 15歳未満	99,893 (12.5%)		

新潟市の高齢者人口と高齢化率 将来推移

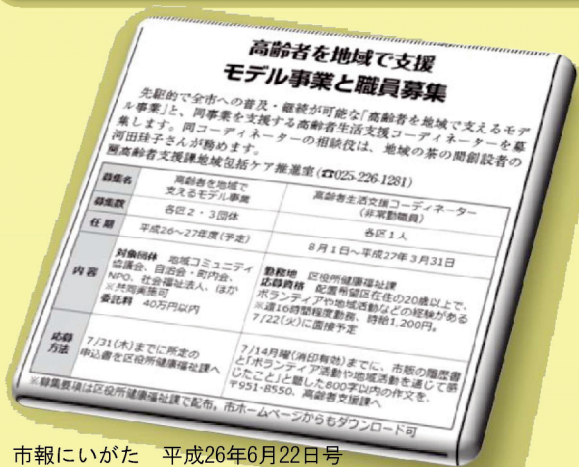
H26年度：26% ⇒ H37年度：31.5%（団塊の世代が全て75歳を迎える）



■ 前期高齢者 ■ 後期高齢者 ▲ 高齢化率

出典：新潟市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
(平成27年度～平成29年度)

生活支援コーディネーター配置状況（平成26年度）



市報にいがた 平成26年6月22日号

平成26年6月～7月

生活支援コーディネーターの公募 (月60時間未満勤務 非常勤職員)

- 配置を希望する区に在住する方
- 現在ボランティア活動や自治会などの地域活動に携わっている、もしくは過去に経験のある方
- 20歳以上、要普通自動車運転免許

平成26年8月

応募の無い区もありました...

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
応募者数		3人	2人	1人			3人	

- 応募がなかった区（北区・秋葉区・南区・西蒲区）は、各区役所より推薦し採用
- 採用されたコーディネーター：平均年齢50代後半，男性1名・女性7名

平成26年9月

各区役所健康福祉課に各1名ずつ配置

社会資源の洗い出し

高齢者を地域で支える
モデル事業の取組支援

実家の茶の間・紫竹
(地域包括ケア推進モデルハウス) 実習

高齢者を地域で支えるモデル事業（各区で実施）

H25年度	地域の社会資源の把握 ・地域の支えあい活動などを調査・集計 ・事例集作成
H26年度	モデル事業の選定・実施 ・事業内容の各種パターンを提示し公募 ・積極的に活動に取り組む地域、団体を募集・選定
H27年度	モデル事業追加募集 ・新しい総合事業の本格実施を見すえた事業内容で公募
H28年度	新しい介護予防・日常生活支援総合事業の仮基準を設定（予定）
新しい介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年4月より	



- ◆新しい総合事業の移行を見据え、高齢者を地域で支える活動のすそ野を広げることを目的に、モデル事業を実施
- ◆事業の展開には、各区役所に配置している生活支援コーディネーターを中心に取組みを支援し、地域包括支援センター、民間企業、公民館や大学、区社協などが協力

高齢者を地域で支えるモデル事業（H26年度実施事業）

- NPO法人にいがた若者自立支援ネットワーク 伴走舎
- 天明町自治会
- 長嶺コミュニティ協議会
- 山潟地区コミュニティ協議会

- 東山の下地区コミュニティ協議会
- 牡丹山地区コミュニティ協議会
- (福)愛宕福祉会
- 新潟医療生活協同組合

平成26年度実施事業数	26
・住民組織	10
・NPO・ボランティア	8
・社福・職能団体ほか	8

- NPO法人新潟夕映えの会
- フィットネスデイaigo
- (福)新潟あそか苑



- 早通地域コミュニティ協議会
- 南浜地区コミュニティ協議会

- 認知症カフェ角田山実行委員会
- (福)巻老人福祉協会
- 西蒲区在宅医療ネットワークの集い

- 大江山地区コミュニティ協議会
- 亀田東小学校区コミュニティ協議会
- NPO法人ボランティア亀田

- 新潟県ノルディックウォーキング協会
- 大通コミュニティ協議会

- たか坪の会
- 長寿楽

- (公社)新潟県接骨師会
- (公財)新潟市開発公社
- (公社)新潟県理学療法士会

パターン名	事業主旨	例
①生活支援型	地域で生活する高齢者の生活課題等を把握した上で、日常生活支援を行うもの	買い物、移動支援、配食など
②介護予防対応型	住民主体による健康教室や運動の場など身体機能回復・維持向上を目的として運営するもの	健康教室など
③生きがい対応型	高齢者の社会参加を促進し、交流の場を提供するもの	常設型地域の茶の間など
④認知症対応型	地域で生活する認知症高齢者と介護者を支える活動を行うもの	認知症カフェなど
⑤医療・介護連携型	在宅医療・介護の連携の推進や、在宅医療に関する市民への意識啓発活動を行うもの	ICT利活用・セミナーなど
⑥活動団体提案型	各種団体より、地域に足りないサービスの創出や、ボランティア育成などについて提案し、市と事業内容を協議した上で上記①～⑤の事業を実施するもの	社福、職能団体、NPOなどから提案を受付

地域包括ケア推進モデルハウス（『実家の茶の間』協働運営）

新潟市 地域包括ケア推進モデルハウスとは

子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現を目指し、支え合いのしくみづくりをすすめるための拠点として設置している新潟市のモデル事業。市が空家を借上げ、任意団体「実家の茶の間」との協働運営で開設している。

河田珪子氏のノウハウを継承・波及していく新潟市の地域包括ケアシステム構築の要（かなめ）。



<物件データ>

住所：新潟市東区紫竹4丁目21-62

間取り：9 SLDK（建物面積288㎡）

駐車：6台

築年：昭和44年

実家の茶の間の理念

『実家の茶の間』は人と人がつながる場。
人と社会がつながる場。

人の役に立ち、自分を活かす場。
一方的にお世話をしたり、されたりするのではなく、気軽に助け合える場。

『実家の茶の間』の利用者とはサービスの利用者ではなく、“場”の利用者です。

- ◆毎週月水曜日（祝日も開催）
- ◆午前10時～午後4時まで
- ◆参加料300円（茶菓代）
※こどもは無料
※紫竹以外の方 年会費2,000円
- ◆食事をされる方別途300円
- ◆毎月第3水曜は保健師等による
こころやかからだ、暮らしの
相談会を開催。



『実家の茶の間・紫竹』の取組み (みんなが作り上げていく居場所に)



参加者自らが役割を見出しながら、建物改修や地元周辺地図、本日の献立表の作成を率先して手伝う。



当番は手挙げ方式で、できる人ができる時に。当番表は自主的に名前を書き込むだけにしていても、大体いつも埋まっていく。



茶碗やマグカップではなく紙コップを使うのは、衛生管理につながるほか、自分の名前をマジックで書くことで、名刺の代わりに也成了り、相手の名前がすぐ分かり、会話はずむ。



寄付物品による即売バザーも行い、運営費に充てている。また、エアコンやストーブ、冷蔵庫などは地元企業からの寄付。



参加者は日平均20～40人。午前10時から午後4時まで出入り自由。

- みんなの決まりごと**
- ☑どなたが来られても 「あの人誰？」という目をしない
 - ☑プライバシーを聞き出さない
 - ☑その場にはいない人の話をしない

その場にはいない人の話をしない (ほめ言葉も含めて)

プライバシーを聞き出さない。

どなたが来られても「あの人だれ!!」という目をしない。

『実家の茶の間』には、互いに思いやりながら、心地いい場所を作るためにいくつかのルールがあり、さりげなく壁に貼り紙が掲示されています。その他、「エプロン着用は台所だけ」や、「上座や下座を作らない」など、居心地の良さに妥協しないのが河田さんのモットーです。

新潟市の目指す 支え合いによる地域づくり

①

- 地域の茶の間等の居場所をベースに支え合い活動を推進

②

- 高齢者だけでなく、子ども、若者、障がいの有無を問わず全ての市民の皆様を対象に

③

- 空き家や公共施設等の有効活用

地域による支え合い活動のイメージ

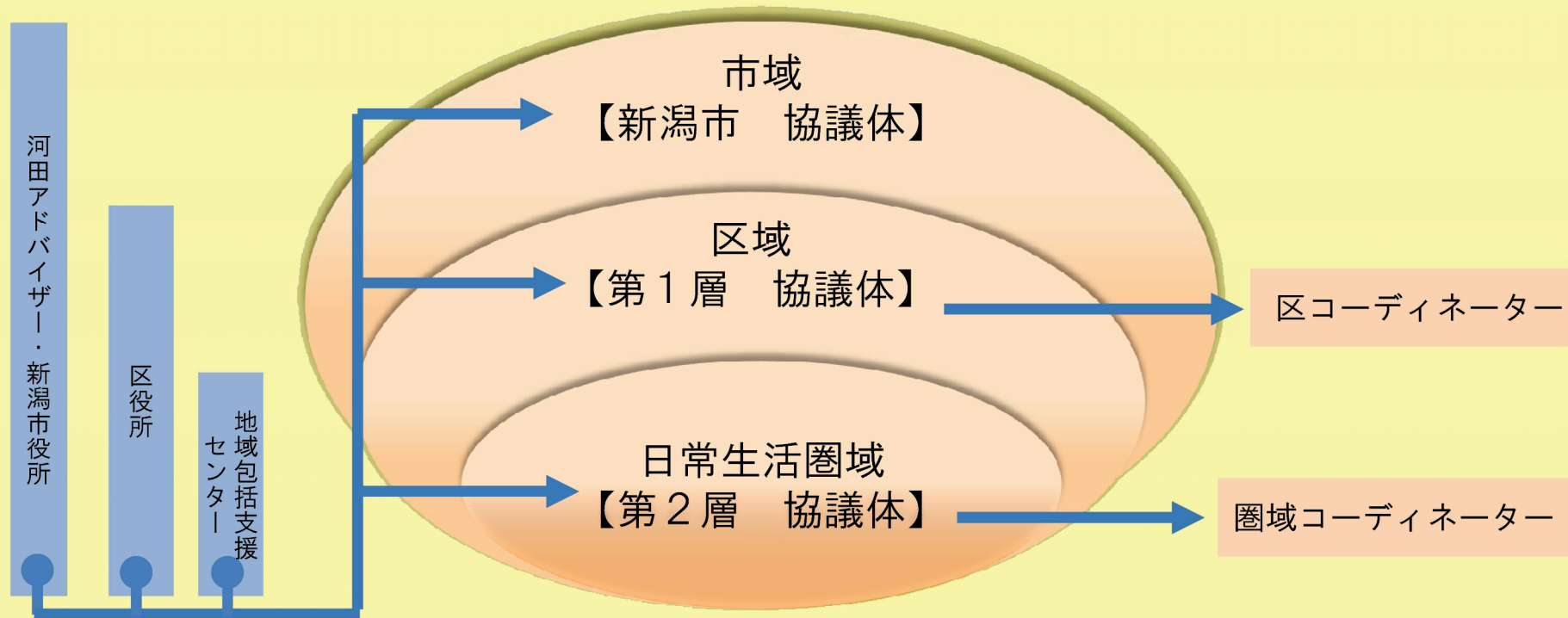
		ご近所	自治会・町内会等	有償ボランティア	非営利団体
見守り		○	○	△	○
交流 (居場所)		○	○	○	○
※ちょっとした生活支援		○	○	○	○
家事援助		△	△	○	○
食事	会食	×	○	○	○
	配食	×	×	○	○
移動		×	△	○	○

出典：さわやか福祉財団助け合い活動創出ブック

※ちょっとした生活支援：ゴミだし、買い物、除雪、草取り、電球交換など

地域では○印が取り組みやすい

支え合いのしくみづくり会議（協議体）と 支え合いのしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）



支え合いの仕組みづくり会議（協議体）	支え合いのしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）
<p>活動当事者による検討組織</p> <p>【役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の現状把握 ②地域の課題発見 ③生活支援コーディネーターの選出・支援 	<p>協議体で選出</p> <p>【役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資源開発 <ul style="list-style-type: none"> ・不足するサービスの創出 ・サービスの担い手の育成・支援 ②ネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有、連携体制の強化

協議体の役割と活動主体について

協議体とは

【目的】

地域住民の力を集めて、
相互の助け合いの仕組みを創出する

○役割

- (1) 「生活支援コーディネーター」をそれぞれの分野で支援する
- (2) 地域住民の困り事を把握し、その解決方法を考える

≪具体的には≫

- 「生活支援コーディネーター」を選出する
- 随時、「生活支援コーディネーター」の相談に応じ、日常的な活動を支援する
- 地域の困り事などの情報収集を行い、定期的に会合し、その解決方法について協議する

◎協議体と活動主体の連携イメージ

